

発行所
広島市東区二葉の里
2丁目6-25
明星院
TEL 082-261-0551
FAX 082-262-1827

明星院だより

子歳守り本尊
千手観世音菩薩(当山本尊)



随喜
泉涌寺元長老
小林海暢猊下染筆



庚子
元旦

一心の性は仏と異なることなし
我心と衆生心と仏心との三、差別なし
この心に住すればすなわちこれ仏道を修す
『遺誠』

檀信徒のみなさまが健やかに新春を迎えられましたこと、謹んでお慶び申しあげます。お大師さまの残された『遺誠』のなか「一心の性は仏と異なることなし。我心と衆生心と仏心との三、差別なし。この心に住すればすなわちこれ仏道を修す」という言葉があります。人の心は本来仏さまと同じであり、この本来の心をとりもどすことで仏となりうる、という意味です。

生きる中では苦しみや悩みに始終出くわし、心が折れそうになることもあります。ですが人は誰もが本来仏さまのように、素晴らしく生きる資質をもって生まれてきました。そのように生まれたからには、人を信じ己を信じ、生きていくことの幸せを感じながら、自らのすばらしさを発露できるような日々精進していただきたいと存じます。

本年が皆様にとりまして良いお年であり、ますことを切にお祈り申しあげます。

我以外皆我師なり
住職二十五年表彰される



受賞者を代表しての答礼
作家の吉川栄治氏はよく『我以外皆我師』という言葉を使われました。それはどんな人、どんな些細な事からでも学ぶことの大切さを言っておられるのだと思いますが、この言葉どおりこれからも、自分以外の全てを、人生の師とする姿勢で寺門興隆のために精進する所存でございます。

つきましては、宗派として慶賀の微意をささげたく、表彰式を挙行したいと存じます…」
十月四日、総本山仁和寺より永年勤続住職表彰式への案内状を頂き、十二月十二日、仁和寺宸殿において瀬川大秀管長猊下より功勞表彰を受けました。実に感慨無量の思いでございました。
先住龍生大和尚の退山より、平成六年真言宗御室派管長吉田裕信大僧正から明星院住職を拝命し、第二十八世として晋山以来、早くも二十五年の月日が経過しました。光陰矢の如しとはいうものの、月日の経過した間、周囲の多くの方達に支えて頂いた御厚情に心から感謝申し上げます。
先住龍生大和尚の退山より、平成六年真言宗御室派管長吉田裕信大僧正から明星院住職を拝命し、第二十八世として晋山以来、早くも二十五年の月日が経過しました。光陰矢の如しとはいうものの、月日の経過した間、周囲の多くの方達に支えて頂いた御厚情に心から感謝申し上げます。

令和二年 明星院行事予定表	
一月一日〜三日	修正会・新年初祈禱
二月二日	開運厄除祈願節分星祭
三月二十日	春季彼岸会
三月二十四日〜二十六日	四国八十八ヶ所巡拝
六月十三日〜十四日	中国地藏尊霊場巡拝
八月上旬	お盆勤め
八月十三日	うら盆施餓鬼会
九月二十三日	秋季彼岸会
十二月十三日	赤穂義士討入り大祭

編集後記

☆へ初護摩の五臓に響く大太鼓
☆一年に二回、仁和寺宸殿にて法儀に浴することが出来ました。表紙の色紙は、尾道浄土寺長老様よりそれらを記念して拝受したものです。

☆「生きとし生けるものすべて命に限りあるけれど
花のように心を開き
私は咲きたい凛として」
坂本冬美のヒット曲「凛として」の一節です。凛とは、きりっとした様子・威厳のある様を意味します。

冬の寒気に耐えて、新緑の光沢のある葉に包まれ、まあるい赤い実をつける「おもと」が、心に浮かんできました。言葉通り凛として存在をしめす、その様が…。
「葉は芭蕉の如く、隆々として衰えず、その多寿を以て万年青と書く」と古い書物に解説されています。

☆六日より寒に入ります。皆様のご自愛をお祈り申しあげます。

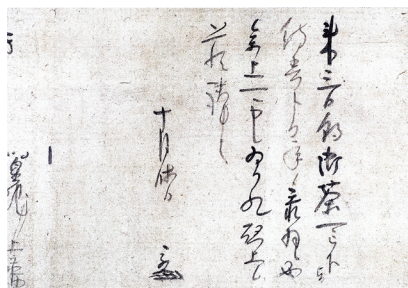


宗岡お家元を正客に亭主をつとめる

記念茶会

記念茶会は、大庫裡で濃茶席・明星院会館「清鑿齋」で薄茶席・「仁風亭」で点心席・明星院学園園舎二階「遊戯殿」で展覧席がそれぞれ行われ、当山山主は、濃茶席の亭主を担当致しました。

浅野長晟公広島入城四百年献茶祭・記念茶会
とき 令和元年十月二十六日(土)～二十七日(日)
ところ 献茶祭 饒津神社 記念茶会 明星院



本席の掛物は、明星院宛上田宗箇の消息で、元和五年(一六一九)に浅野長晟公が入城した五年後の寛永元年(一六二四)、書院と茶室が落成しており、その茶席開きへ明星院主和尚から待春坊を使者として茶会に招待された。それを拝諾、必ず参上する旨を一筆啓上したものです。

来三日朝御茶可被下
旨待春より承候忝存
候必参上可申候いつ
れ啓上候恐惶謹言
十月晦 宗(花押)
明星院 上主水助

巡 拝 日 程 表	
3/24 (火)	広島駅==《広島高速・山陽道・瀬戸大橋・高松道》== 67) 大興寺== 66) 雲辺寺== 65) 三角寺== 64) 前神寺 == 63) 吉祥寺== 石鎚温泉(泊)
3/25 (水)	旅館== 60) 横峰寺== 62) 宝寿寺== 61) 香園寺== 番) 生木地藏== 59) 国分寺== 58) 仙遊寺== 57) 栄福寺 == 56) 泰山寺== 55) 南光坊== 54) 延命寺== 53) 円明寺== 52) 太山寺== 遍路宿(泊)
3/26 (木)	旅館== 46) 浄瑠璃寺== 47) 八坂寺== 48) 西林寺 == 49) 浄土寺== 50) 繁多寺== 51) 石手寺== 44) 大寶寺== 45) 岩屋寺==《しまなみ・山陽道》 == 広島駅

※巡拝の順序や旅程は、道路事情、天候等により多少変更されます。

《只今募集中》
四国遍路(伊予之国)
第九期第三回巡拝
◇日程 三月二十四日(火)～三月二十六日(木)
(二泊三日)
◇定員 十五名
◇会費 七〇,〇〇〇円
◇申込 三月十五日までに当山へ
(但し、定員になり次第締め切ります)

千手観世音菩薩豆知識



この尊は、あらゆる一切の誓いを備えもち、尊い徳を円満するところから蓮華部の主尊といわれ「蓮華王」といわれます。

ご真言・おんばざらたらまきりく



本像は、本尊の姿を写して造られたもので、御納経帳に押される御寶印です。

千手観世音菩薩は、極大な法力をもち古来より篤く信仰された変化観音で、十一面千手千眼観世音とも呼ばれ、十一の頭、千の眼で、一切の衆生を救い利益する仏です。
頭上には十一面の化仏を戴きます。髻頂には仏果を示す阿弥陀仏面が一、地髪上前に菩薩面が三、右側面に牙をむく忿怒面が三、左側に忿怒面が三、背面に大笑面が一の計十一面をあらわす。
なぜ「千」なのでしょうか
仏教では全宇宙を「三千大世界(1000の三乗個の世界)」と呼び、過去・現在・未来のそれぞれに現れる1000人の仏を「千仏」といいます。本来「千」は実際の数ではなく「無数」「非常に多い」という極大の時間や空間、物のことを表す聖なる数字です。
実数千本の手を持つている本像は、全国でも珍しく、奈良の唐招提寺・京都の法性寺・寿宝寺・大阪の葛井寺・福岡の雷山大悲王院が有名です。
しかし、手を千本造るのは難しいため、省略して四十二本とする像が一般的です。四十二本なのは、合掌する二本の手を除いた四十本の手の一本一本が、それぞれ二十五の世界を救うものであるため、といわれます。その手の表現もじつに多様で、手首や指の表情をさまざまに表した手にはひとつひとつに慈愛の思いが込められています。そして、衆生を救い利益するため三十八手が法具を手持っています。どのようなものを持っています、どのような功德があるのか紹介します。持ち物のない二手は施無畏の印を表しています。

道歌に学ぶ

— 先人の枕ことば —

手や足の汚れは常に洗えども
こころの垢を洗う人なし

便所へは行ったあとに、みなさんは必ず手を洗うでしょう。ひょっとして中には洗わない人もいるかもしれませんが…。ともかく、手や足の汚れは見えるわけです。汚れていればだれしも気になって洗いますよね。草取りや畑仕事をしたあと、泥のついたままの手で台所に立って包丁を握る奥さまはいないと思います。

しかし、「こころ」ばかりは見えませんが、汚れているやうきらいやう、わかりません。というよりは、汚れているのに気がつかないのです。

一休さんの頓智はなしにこんなのがありました。あるお殿さまが一休さんに「この衝立に描かれている虎が、夜な夜な出てきてあばれてしまっている。そなた縛り上げた上、こころしめてはくれぬか」といいます。すると「一休さんは、二ではお殿さま、その衝立の中の虎を追い出して下さい。私がただちに縛り上げて見せましょう」

同じように、「こころを出してみる」といわれても、出せるものではありません。でも、こころが見える場合があるのです。どんなときでしょうか？

その人の「目付き」や「顔付き」「言葉づかい」などで、心根がわかることがあります。でも、「この顔は親からもらったんだ。顔のことをいわれてもこまるよ！」とおっしゃる方もいるかもしれません。顔のことは年齢になつたら、おたがい自分の顔には責任を持ちたいものです。ここでいうのは「表情や顔付き」という意味です。

折にふれて寺参りをし、こころの垢を洗うようになさいますか。とにかく、自分のこころが汚れている…という自覚が大切なのです。

考えてみれば、お寺や神社はこころを洗うところです。みなさんの中に、寺の境内で石造りの手水鉢に《洗心》と彫られているのを見た方はおりませんか。それはまさしく「手や口を漱ぐだけでなく、こころを洗ってからお参りしましょう」という意味にはなりません。

掃けば散り 払えばまたも 塵積もる
人のこころも 庭の落葉も

春の新緑もきれいですが、秋の紅葉もまた美しいものです。奈良や京都・地元宮島の紅葉は素晴らしいですね。平成三年の団参で、奈良桜井市内にある談山神社へ行ったことがあります。国宝の十三重の塔が紅葉の中にポツカリと浮かんでいるようで、実に見事でした。

ただし、年々歳々紅葉する時期が全般的に遅くなっているような気がします。これも地球温暖化のせいなのでしょう。それに紅葉の色合いがイマイチになりました。二十年前くらい前の各地の紅葉は、もっと鮮やかだったような印象があります。

いままで見た紅葉で一番すばかったのは、京都洛外、高雄山・神護寺の紅葉でした。昭和五十五年母親を連れて行ったことがあります。清滝川の清流を渡ると全山真っ赤、というのは決して大袈裟ではありません。弘法大師が長く住まれたという歴史を味わいながら見る紅葉は、ひときわ鮮やかでした。

明星院庭園には、さしたる紅葉もなく、秋はうら寂しいばかりです。とにかく落ち葉はしつこいですね。掃いても掃いても落ちてきます。全部落ちきらないと掃いてもムダです。それと、杉の葉も苔にからまって掃除しにくいので大変です。ガリガリやると音を傷めますし、慎重にしなければなりません。

銀杏の葉は燃えないので、まったく始末にこまります。もっとも、燃えにくいからこそ、防火の意味でむかしから神社仏閣の境内に銀杏が植えられたのでしょうね。

はらわすば こころの道も 夏草の

茂るさまにや うずみはてまし

そのままにしておくと、人のこころも塵が降り積もるのです。折にふれて払ってあげないと、伸び放題の夏草のようにようになってしまつようです。

いまさらいうのも変ですが、むかしの人はモノの響え方が旨いですね。「こころの道」と「夏草の茂るさま」を対比させて、注意しなさいと我々を喚起させてくれます。

向って右側

- ⑬ 篋 経を入れる箱。地中の宝を得る。
- ⑭ 楊柳枝 歯をきれいにする楊枝。諸病を治す。
- ⑮ 雲 不老長寿の願いに応える。
- ⑯ 葡萄果 たくさん実るので、五穀豊穡を得る。
- ⑰ 弓 武運・出世をかなえる。
- ⑱ 軍持 水瓶。仏教守護神・梵天の住む初禅天に生まれ変わる。
- ⑲ 玉環 悟りを求める心を導き、よき従者を与える。

- ⑦ 亡失 掌を上に向け、何かを載せたらしい。
- ⑧ 日輪 闇を照らし、盲目の者に光を与える。
- ⑨ 宮殿 浄土にある御殿に衆生を導く。
- ⑩ 法螺貝 善神を呼び集め、仏法を広める。
- ⑪ 赤蓮華 諸天の宮殿に往生する。
- ⑫ 亡失 指を伸ばしている。何かを掛けたものか。

- ① 化仏 あらゆる方向の仏たちが来て、将来の成仏を確約。
- ② 枝付法輪 煩惱を打ち砕き、悟りを求める心を導く。
- ③ 三叉戟 先端が三叉に分かれた武器。仏敵を追い払う。
- ④ 宝鉢 食器。お腹の病の難から救われる。
- ⑤ 小鐺 宝鐺とも。小型の鐺。仏の言葉を得る。
- ⑥ 白蓮華 功德が成就する。

向って左側

- ① 三鈷剣 握りが三叉に分かれる。悪鬼を鎮め煩惱を断ち切る。
- ② 払子 蠅や塵を払う。万能などあらゆる障害を断ち切る。
- ③ 金蓮華 あらゆる仏が眼の前に見える。
- ④ 三鈷棒 武器。枝の先が三叉に分かれる。煩惱を断ち切る。
- ⑤ 箭 矢。良き友を得る宝の矢。
- ⑥ 龍牌 龍の頭の盾。悪い獣を追いかう。
- ⑦ 鳳首水瓶 一切の汚れが消える。功德水が入っている。

- ⑧ 亡失 掌を上に向け、何かを載せたものか。
- ⑨ 月輪 真円の月。熱や毒の病を治す。
- ⑩ 髑髏杖 鬼神を意のままに操る。超常的力を持つ髑髏杖。
- ⑪ 板状持物 鏡か印？鏡は広大な知恵、印は弁舌に優れる。
- ⑫ 鉄斧 武器。魔性を断ち切り、法に触れる難を避ける。
- ⑬ 絹索 投げ縄。悩みを捉えて救済する。

- ① 三鈷剣 握りが三叉に分かれる。悪鬼を鎮め煩惱を断ち切る。
- ② 払子 蠅や塵を払う。万能などあらゆる障害を断ち切る。
- ③ 金蓮華 あらゆる仏が眼の前に見える。
- ④ 三鈷棒 武器。枝の先が三叉に分かれる。煩惱を断ち切る。
- ⑤ 箭 矢。良き友を得る宝の矢。
- ⑥ 龍牌 龍の頭の盾。悪い獣を追いかう。
- ⑦ 鳳首水瓶 一切の汚れが消える。功德水が入っている。